

会 議 録

1 会議名

令和5年度第6回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○自主的審議事項

・廃校した小学校の維持管理と利活用について（公開）

○その他

・光ヶ原高原ヒルクライム試走会について（公開）

3 開催日時

令和5年9月21日（木）午後6時00分から午後7時10分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

2 人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、
植木節子、山本茂、下鳥治、田中睦夫、秋山秀夫、長藤豊
（3人欠席）

・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、内藤次長、清水教育・文化グループ長、
市村市民生活・福祉グループ長、高橋建設グループ長、小池地域振興
班長、橋詰主査、金井主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【内藤次長】

・会議の開会を宣言

【平井会長】

・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・会議録の確認を下鳥委員に依頼。

4 自主的審議事項 廃校した小学校の維持管理と利活用について事務局からの説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料1に基づき説明

【平井会長】

今ほど事務局から説明があった。前回の会議のときに、旧小学校の維持管理と利活用について審議するためには、まず現地を見て、各委員の共通認識をもって協議するということになり、本日午後2時から勉強会を実施した。勉強会に参加していない委員もいるが、この自主的審議のテーマについて意見はお持ちだと思うので、これから各委員から現地を見て気づいたことや、維持管理や利活用について意見を発表してもらいたいと思う。

【池田委員】

私も今日視察に参加したが、結局校舎というのは潰しが利かないので、利活用のいい案が出ないと思う。何年か前にテレビで画家に貸したり、芸能関係に貸したりして活用しているのを見た。そのようなところに貸し出しするほかは手がないのではないかと思う。

【小林委員】

現地で説明いただきより理解が深まった。維持管理にとっても苦勞されている点と、地域のバックアップが必要だということを強く感じた。現地でも説明があったが、緊急時の指定避難所であり、それが最優先なので、おのずと使用する範囲が決まってくると思う。法律的にいろいろな条件や建築基準法なども関係してくるので、使用したい団体が全てウェルカムという訳にはいかない。公共的な建物を使うにあたっての使用条件を個別の案件に対して提案できるようにして、インターネットなどで発信したらいいのではないかと思う。

【植木委員】

国からの大きな借金があれば全然動けないのではないかな。旧寺野小学校と旧筒方小学校の方を優先的に使えればいいのかなと思った。旧寺野小学校は何人かで住んだらいいのではないかなと思うくらい素敵だったので、アパートでこっちに来た人が部分的に貸してもらえるとかなそういう施設にされたらいいと思う。今台湾とかオーストラリアの人が妙高高原に来ているそう。あと、旧山部小学校のグラウンドが景色が良い。あれは宅地造成したらどうか。建物に担保がついてるとかいろいろな条件があるのであれば、グラウンドを何とか宅地造成させてもらって、安価で住みやすい景色のいいところで住んでもらったらどうなのかなと思った。本当にあまりにも金額が大きくて手が出せないのが旧宮嶋小学校で、本当に素敵なおところなのにもったいないかなと思った。

【山本委員】

本日仕事の関係で参加できなかったが、事務局にお願いして、旧筒方小学校を除く3校を事前に見させてもらった。建物の前に中にお宝がたくさんあることが分かった。机、椅子その他備品関係でまだまだ使えるものがたくさんあったので、財務規則等でいろいろと面倒な面もあるかなと思うが、町内会とかサークルとかそういったところに払い下げをすることはできないのかなと思った。家庭科室や理科室にはそのまま使えるようなものがあつた。音楽室もそうである。これを板倉区に限らず、いろいろなところに声を掛けて見に来ていただければ、その部屋を使える、じゃあ建物も使おうか、そういったことにもつながることになるのかなという気がしている。実際そこにある備品は欲しい人に貰ってもらう方がいろいろと活用できるのではないかなと思った。旧宮嶋小学校は野球とバレーボールをやっていて、バレーボールはいつでもできるような状態になっていて、板倉の子ども達だけでなくいろいろなところから来ている。その時に、他の地域からもそれなりの分担をもらわなくていいのかなという意見を出された方がいたが、私が思うに板倉に行けばバレーボールができる、板倉に行けば野球ができるというように、そういった形で、あそこに行けばこんなことができるというのを、備品の内覧、施設の内覧、そういったものを含めて、とにかくいろいろなところから来てもらって見てもらったらいいと思う。

【長藤委員】

まず、初めて入ったのが旧寺野小学校だが、総合事務所の説明では撤退した業者と同様の業者に入っていたらという説明だったと思うが、今まで寺野と地域協議会との意見交換の際に、冬期間一時的にとか外から呼んでとか宿泊施設としてというような声は何回も聞こえた。それが今日初めて入ってなるほどと思った。今までのような形態以外の利用方法も募ってみてはと思った。今日見ることができなかつた中で、旧筒方小学校の中に備品以外に、元の資料室に入っていたものが残っている。旧筒方小学校の資料室にうちから貸し出しさせてもらったが戻ってこないものがある、見ることができれば見ようと思ったが今日見れなかったのもまたの機会にと思う。中には貸し出したものがいまだに中に残っているものがあると思われるので、単に利用するだけでなく、保管されているものを確認する必要があるのではないかと思う。

【秋山委員】

体育館はスポーツ関係、教室等は余っていてもったいなく感じたが、そういったのは文化系サークル等が使うのがいいのではないかと思うが、借りたいと思っても、どういったことに使っていいかの使用条件や費用などがあると足踏みしてしまうのではないかと思う。使用条件と費用を公開して募集したらいいのではないかと思う。私は部屋を探しているとか建物を探しているとかいう話は聞いたことがないが、今商工会の方が探しているようで、旧宮嶋小学校は大きくて部屋がいくつもあるから、そういったところをお願いしてみたらどうか。

【田中委員】

皆さんと違った意見だが、特に旧宮嶋小学校が一番新しくて体育館のステージのカーテンがまだ新しいと感じた。板倉小学校は統合してから見ていないが、板倉中学校のカーテンの色が薄れているので、長さとか寸法は分からないが、いつも卒業式とかに行くとみすぼらしいなと思っていたので活用できるのであればどうかなというのが一つ。それから旧宮嶋小学校のランチルームにテレビが2台あった。映るかどうかは分からないが。寺野の避難所として活用しているソファールとか置いてある場所にはテレビがない。避難した時に、行政の方も対応しているので情報はあるかもしれないが、避難している人というのは情報を何で知るか

いうと、やはり一般的にはテレビだと思う。特に寺野のそこにはテレビを1台活用できないかと考えていたら、旧宮嶋小学校に2台あったので、その辺を含め融通付くもの、まずは地元で何とか声を上げたところには融通してもらえたらと思うので、地元の意見を活用できないかと思う。

【下鳥委員】

まず旧山部小学校だが、今から3年ほど前の閉校した時のことを思い出し、悲しくなるほどもったいなく思った。板倉除雪ステーションの集約はどうか。旧寺野小学校については宝の山だと思った。やすらぎ荘別館、ピアノコンサートはいかがだろうか。旧筒方小学校については、使い勝手がよさそうだった。旧宮嶋小学校については、標高が67.5mあるのだそうだ。眺めがよいところである。上越市の公文書館を持ってきてはいかがだろうか。何か参考にさせていただければと思う。

【古川副会長】

多くの皆さんから色々な意見が出たが、私も全くそのとおりだと思うが、ただ回ってみて本当にもったいないなという思いである。旧宮嶋小学校は体育館、グラウンドを使用しているということである。旧筒方小学校はそばまつりやふきんとまつりで使っている。旧寺野小学校が残念ながらあの設備を持っているので誰か年寄りが入ってくれないかと思う。問題はどこもそうだが経営する人、各団体が何をやるかである。また旧山部小学校のグラウンドが荒れていた。宅地造成したらどうかという話も他の委員からあったが、私はそのグラウンドを使ってグラウンドゴルフ場にしてもらえれば、新幹線も見えるし、箕冠山もあるのでそういったことも含めて考えられないのかなと思う。グラウンドを使ってグラウンドゴルフをやるのは上越市だけである。グラウンドゴルフ場は妙高市はあるし、糸魚川市もある。結構上越市もグラウンドゴルフをする人が多くなってきているので、こちらでやったらどうかと思う。そういう愛好家も含めて考えてみたらどうか。

【平井会長】

今日4校見てきたが、子ども達が建屋で勉強して、成長して、社会に出ていったそういうような建屋で、こういう姿になって非常に寂しいなと言うのが一つの

思いである。時間が経てば経つほど、寂れていくということなので、出来るだけ早く対策を打っていただく必要があるのではないかと、非常に難しい問題ではあるが、そうしないとだんだんと寂れていってしまうということである。建物を貸し出す、切り売りする、全部売る、こういうようにしてもまず行政の方で国の問題や県の問題があって大変だと思うが、その辺を計画を立てないとなかなか先に進まないというように思う。まず、範囲である。今日の説明の中で、こういうところにはだめだと、国の金が入っているからだめだと、こういった説明がされていたが、一般の人にはそれが分からない。交通整理して、こういうものについては貸し出しできるし、部分的な切り売りもできるし、全体も売ったりすることができると、行政として早く青写真を作って提示しないと、現実問題としてこうやって欲しい、ああやって欲しいと話があるが、そういった壁が最後に突き当たるとだめになってしまうので、なかなか進まない。その辺をやってほしい。

今ほど委員の皆さんから、さまざまな意見をいただいた。今回出た意見について、次回までに事務局から整理してもらい、地域協議会としてどのような対応をとっていくべきか今後も審議を進めていきたいと思う。今回は地域協議会の意見であったが、板倉にある各団体については今後相談していくということで、今相談中であり今はまだ出てきていない。我々の今日の意見は事務局でまとめてもらいたい。

次に5「その他」に移る。光ヶ原高原ヒルクライム試走会について、事務局から説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料2に基づき説明。

【平井会長】

今ほど事務局から報告があった。当日は、地域協議会委員は先導車、後送車、ゴールの係に分かれ、試走会運営に参加した。試走会に参加した委員は一言ずつ感想を述べてもらいたい。

【小林委員】

事前準備された福井協力隊、総合事務所の職員の皆さん、やってみないと分からない中で大きな問題もなくスムーズに進められたのではないかと思います。私もテ

ストということで経験豊富なプロの方かと思ったが、出発して達野の坂を登りきる前に体調が悪い方が2人いて、ギブアップしてリタイヤされる方がいて、後送車であったがどうしていいかわからない面もあった。その時に本人に聞いたらコースを甘くみていたといった感想を言っていたので、やはり達野の坂道はきついというように私は見えた。全般的にはやってみてよかったなと思うし、いろいろな課題も見えてきたと思う。途中でリタイヤした時にどのように救護したり、戻したりしたらいいかという戸惑いがある、来年はしっかりとスタッフを補強して、組織をしっかりと作ってやっていかないと、せっかくここまでやったのだからいい大会に繋げていければと思う。

【長藤委員】

私は先導車の方に同乗させてもらったが、ヒルクライムの経験者であるので、事前にどこら辺の区間でどの程度のスピードが出るか把握しておいた。そのため先導として走る際にも、どのくらい前をどの程度のスピードで走ったらよいかというのを指示をさせてもらいながら走ったので、そういった面でのトラブルはなかったと思う。36名の中に遠方からおいでになった方もいらっしや、柏崎からもチームで大勢来ていただいた。その方に、ゴール地点のグリーンパル光原荘の標高は米山の山頂と同じですよと話したところ驚いていた。そこまでの標高差を獲得できるレースというのはなかなかないので、コースとしても非常にいいという話がたくさん聞けた。今後やるにあたってそういったのを宣伝の中の一つとして考えていただければ、より来年度以降大勢の方から参加頂けると思う。

【平井会長】

沿道で応援されていた池田委員からも一言お願いする。

【池田委員】

高原センターの前で応援していたが、私も出たいなと思いながら応援していた。イベントは盛大に終わってよかったと思う。今後継続的にやっていただけたらと思う。私事ではあるが、9月に入って自転車で関田峠まで行った。別所川のところから計測して関田峠まで2時間50分かかった。上関田から高原センターまでに間に一番きついところがあると思われる。高原センターから峠まではそこまでではないと思う。上関田から高原センターまでが一番標高差がある。今後と

も継続するようにお願いしたい。

【古川副会長】

ゑしんの里記念館での平井会長の挨拶とスタッフの合図によりスタートし、前の車に乗っていたので見るができなかったが、そのまま上に上がりテントを張ったりいろいろな手伝いをした。出発してからゑしんの里記念館もそうだが、多くの人が出た。沿道のところどころに何人かいたが、もっと盛り上げるためには多くの人々の応援が必要と感じた。早い人は1時間を切ってくる。やはり若い人は早い。あとはほぼ2時間くらいであったと思う。そういう中で、半分くらい上がってきたと思う。そこに家族も一緒に回ってきていた。非常に天気も良く、針の塚之宮のお祭りが無ければもっと良かったと思うが行事が重なってしまった。来年は区民全員で、あるいは他の区もあるので、そこら辺も含めてどうやっていくか検討して盛り上げていければと思う。

【平井会長】

当日は晴天で、連日の猛暑の中実施された。スタート前の挨拶等をさせてもらったが非常に盛り上がっていたし、2、3人の方と話をしたが、石川県から来ている人もいた。素晴らしいコースで、眺めもいいということで、全国あちこち行っているが心に残ると話をされていた。何がいいかというと、景色もいいし、長さもいいし、高低差もいいし、そして上がったところがゴールかと思ったらもう一山あってそれが良かったという話をされていた。来年は副会長が言ったようにみんなで、板倉の歴史を作るために協力していきたい。

【長藤委員】

参加された方が、今回8月という暑い時期だったが、割と早い時間だったということと、東に向かって上がるコースなので、ずっと直射日光がなかったというのが良かったと話していた。それと、今回計測で各ライダーの足首に計測器を撒いて計測していただいたのは助かったと思う。先ほど何名完走されたのか分からないという話があったが、私はゴールで計測器を回収する係をしていたが、私が預かったのは29人分であったので、36人中29人は完走したものと思っている。

【平井会長】

今ほど、事務局から報告、および参加した委員から感想を述べてもらった。サイクリング関係者で実行委員会を結成することになり、そちらが中心となって地域独自の予算に提案していくとのことである。地域協議会としても、今後も大会実施に向けバックアップしていきたいと思う。

質問、意見のある方は挙手をお願いします。

【下鳥委員】

長藤委員に質問だが、今のコースというものは、素人考えで悪いが、初級、中級、上級のどの辺と考えたらよいか。

【長藤委員】

私はどちらかというとなり上級レベルと思う。

【平井会長】

他にないか。

(特になし)

この件については以上とする。事務局から何かあるか。

【小池地域振興班長】

地域政策課の方から上越市過疎地域持続的発展計画変更案の通知があった。写しを配布してある。諮問があったこの計画変更案について、地域協議会として支障なしとして答申した。それについて計画変更手続きを進めることとして、今後パブリックコメントを経て令和5年度上越市議会12月定例会に提出する予定ということで通知があったのでご覧いただきたい。

- ・10月23日の視察研修の案内文書について説明

【平井会長】

- ・次回の地域協議会の日程について確認。

それでは次に、先ほど地域協議会の開会前に、10月10日に開催される板倉区の敬老会の参加方法や内容、それに対し、住民の声などがあがっている状況について委員の勉強会を行った。本日、板倉まちづくり振興会の理事長から今回の敬老会の開催について委員の皆さんに説明したいという要望があり、来ていただいているので入ってもらおう。

【板倉まちづくり振興会理事長】

平井会長からお話があったように、私達、板倉まちづくり振興会で企画し、案内した敬老会について、皆様方に多大なるご心配とご迷惑をお掛けしたことについて、まずもってお詫びしたい。この原因については、板倉まちづくり振興会の管理運営、所謂ガバナンスに欠如があったということが分かったので、今後の板倉まちづくり振興会の管理運営の方法について、もう一度しっかりと理事の皆様方に決定を図ったところであり、その辺の中で私どもの活動を見守っていただければ大変ありがたい。今日は内容について私が来て説明するということではないので、皆様方に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしたことについて、お詫びというかたちの中で、今日私が参ってお時間を頂戴した。大変申し訳なく思っている。

【平井会長】

今ほど、理事長からお話があったが、質問、意見のある方は挙手願います。

【下鳥委員】

この敬老会開催について、市の方からおおよそ予算はどの程度降りているのか教えてもらいたい。

【板倉まちづくり振興会理事長】

内容についてということで、私はそういう立場で来ていないが、有資格者一人当たり1,300円と聞いている。

【下鳥委員】

それでここにお金に係るところがあるわけだが、参加費500円プラス切手代63円、合計563円というのは自己負担である。

【板倉まちづくり振興会理事長】

今の案内ではそのようになっているが、私が先ほど言ったように内容について皆さんにご心配とご迷惑をお掛けしたというかたちの中において、管理運営体制に齟齬があったと私がお詫びをしているわけであるから、近いうちに皆さんの方に回覧板でその内容についての訂正を含めた再募集をするという形で進めているので、今は誤ったという形で理解してもらえればありがたい。回覧板で皆さんから見ていただいて、こういうことがある程度齟齬があったから訂正してきたのだなど理解いただければ大変ありがたい。

【下鳥委員】

そういうことであれば、敬老会の意味をもう一度しっかり噛み締めてもらいたい。何のための敬老会かというのを全面に出してもらって、おじいちゃんおばあちゃんがお金を出さなくていいように、あるいはバスもあるのでバスを使って皆さんから来ていただける、一人でも多くの方から来ていただけるように段取りしてもらえたらありがたいと思っている。

【板倉まちづくり振興会理事長】

それらも踏まえて近いうちに、25日の回覧板で皆さんのお手元にすぐ届くか分からないが配布がなされると思うので中身を見ていただきたい。私どもは先日これに対する緊急の理事会を開いていて対応しているので、よろしく願いしたい。

【植木委員】

最終的には50人くらいで行うのか。そういう細かい話は分からないか。

【板倉まちづくり振興会理事長】

細かいところまで分かっているかと言えばそうではないが、先ほど私が皆さんに言ったように、組織体制の中の報連相が欠如していたことが一番問題だと思っている。植木委員の質問だが、まだ50人というのはオフィシャルになっていないが、その話がどこから出たのか分からないが、1回目集計で理事会で報告があったのはそれに近い数字である。それでやろうということではない。そのために先ほど言ったように、回覧板の中でどちらかというところと再募集というかたちで理解してもらった方がいいと思う。

【植木委員】

細かいことが分かる方から説明していただいた方が、よいのではないかと。1人分1,300円を市からいただくのであればその中で何かしようと努力された方がいいのではないかと。500円も足して1,800円で皆さんが気分を悪くされないよう、75歳以上の方は結構出るところが無くてこういうのを楽しみにしている、変なこと言ってしまうが、頑張ってもらいたい。

【板倉まちづくり振興会理事長】

先日の理事会でも多くの理事の方からその意見が出た。先ほど言葉の中で皆さ

んの方からご理解いただきたいと、平井会長の方には今日私はあくまでも皆様方に多大なる迷惑を掛けたということでお詫びをするというかたちの中で今日お邪魔させてもらった。そういう前提として皆さんにお話ししている。内容について、皆さんと板倉まちづくり振興会と協議するのがいいかというのは別の問題だと認識しているので、その辺はご理解いただきたい。

【平井会長】

他にないか。

(特になし)

この件については以上とする。

【古川副会長】

・挨拶

【内藤次長】

以上で、第6回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0 2 5 5 - 7 8 - 2 1 4 1 (内線 1 2 3)

MAIL : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。